

神奈川県平塚市の大樹さん

特別住民番号1532

命名

人間として信頼のある人と成り、大きな木のもとへ友が集まり、頼りにされるような人間となる様に願いを込めて。
(父母より)



北海道八雲町の大樹さん

特別住民番号1544

みなさん、こんにちは。ぼくは、1999年9月9日で、9歳という記念すべき日をむかえました。ぼく、とっても、うれしい気分!!

ぼくの名前「大樹」は、パパがつけてくれたものです。

ぼくが生まれたので、パパが友だちを集めて、お祝い会をひらきました。宴会も盛り上がり、どんな名前にしようかと、皆で考えたそうです。

ぼくの住んでいる所は、大関という地名で、その「大」をとったのです。大関は、まわりが山で、木がいっぱいあるので「大樹」となったそうです。

その時、皆で飲みほした焼酎のビンに、命名大樹と書き入れたものをパパが持ち帰りました。今も、そのビンは、ぼくの大切な宝物です。パパ、それからパパのお友だち、ぼくの名前をつけてくれて、どうもありがとう！ おかげで、大樹町の特別住民になることが出来ました。まだ大樹町には、行ったことはないのですが、おふろ大好き、温泉大好きなので、是非、是非、晩成温泉に行ってみたいです。



長野県伊那市の大樹さん

特別住民番号1547

はじめまして、ぼくの名前は北原大樹、中学一年生です。

ぼくの大樹という名前はお父さんが付けてくれました。心も体も大きく育つようにと考えて付けたそうです。

ぼくは自分の名前がとても好きです。近所にも同じ名の子どもはいないし、覚えてもらいやすい名前です。

お父さんのいとこの人は北海道によく釣りに出かけます。何年か前に「大樹町」という看板があったと写真にとって送ってくれたことがあります。とても広い所でびっくりしました。

ぼくの住む長野県は山や川が多く、広大な大地はぼくはまだ見たことがないので、大樹町にぜひ行ってみたいです。



北海道函館市の大樹さん

特別住民番号1549

大樹という名前を命名になったのは、冬の厳しい雪が降った日でした。朝に陣痛が来て、あまりの痛みで苦しんで我慢ができなくなり、病院の分娩室に入って、ベッドに横になって、10分ぐらいで生まれました。その時に、お父さんが私に話してくれた言葉は、この子はやさしくて、大きくなって、思いやりのある子供だねと言ったことが、頭からはなれずその事が思い出になり、樹木の樹の字を取って、元気に大きく育ててほしいという意味で、お父さんが大樹と命名してくれたのだと思います。

私は、とても大樹という名前に感謝しています。



今では、大樹も大きな病気やケガもしないで、元気に遊んでいます。私も、その事を願って、きっと大樹も大きく、強くなって、やさしくて、思いやりのある人になってくれることでしょう。(母より)

富山県富山市の大樹さん

特別住民番号1550

我が家の大樹くんは、「ひろき」と読みます。

1997年9月17日、午後12時56分に生まれました。

名付けの由来は、私達は新婚旅行でハワイに行き、今では放送されていませんが、コマーシャルで映されていた、「大きな木」を見て来ました。

あの時、自分の目で見た光景やよろこびを思い出しました。

青々とした大空の下で、葉のいっぱいついた大きな樹の下に、人々が集まってきて、ゆっくりと休め、ほっと出来、たよりにされる様な人になってもらいたく、大樹と名付けました。

「あまえん坊のヒロ君」へ

ごはんをいっぱい食べて、外で元気に遊んでね。

(パパ悟さん、ママ弘美さんより)



北海道釧路市の大樹さん

特別住民番号1552

ぼくは、昭和61年4月6日釧路生まれの中学校1年生です。

残念ながら大樹町生まれではありませんが、一度小学校低学年の時に、帯広や忠類村、グリック王国、そしてぼくと同じ名前の大樹町に家族全員で行きました。ぼくは母から、「大樹と同じ名前の町だよ、どんな所なんだろうね」と言われて胸がドキドキしたことを覚えています。

大樹駅の前で記念写真を撮ってもらい、ぼくのアルバムの中にはっています。

さて、名前の由来は、ぼくが生まれた時2,200グラムと小さくて、祖母はとても心配しました。まい日、「大きくなれ、大きくなれ」と頭や足をさすってくれたそうです。そして親戚の人が、ぼくの生まれる少し前に夢の中で「たいき、たいき」と呼んで、ぼくがまだ母のおなかにいるのに、親戚の人の夢の中で遊んでいたそうです。それで母と祖母はたいきという名前にしたそうです。ただ漢字を決めるのにすごく悩んだそうです。祖母はぼくが小さかったので大きくなるように、大地にしっかり根をはって、樹木の「樹」をつけようと、「大樹」に決まったそうです。祖母と言ってもぼくは初孫でまだ40代だったので祖母のことを「お母さん」と呼んでいます。祖母と母がつけてくれた名前のおりの人になるよう、健康、勉強、思いやりをもってガンバリたいと思います。



長野県佐久市の大樹さん

特別住民番号1554

拝啓 初めておたよりいたします。

里帰り中の義妹が、貴町の企画記事を送ってくれましたので、さっそく応募しようと思った次第です。

私どもの長男が「大樹」と書いて「たいき」と申します。

大地に根を張り、大きく育てと願いを込めてつけました。のびのびとしていて、命の息づかいがあり、宇宙への繋がりも感じられる良い名前だと誇りに思っています。「大樹」という名前しか考えてなかったので、最初に女の子が出来たときは大慌てでした。

大樹は今、中学二年生。野球と音楽とゲームに夢中です。とても心の優しい子です。プロ野球選手になることが夢だそうですが、どうなることやら…。

いろいろな「大樹」さんがたくさん集まるといいですね。特集を組んだ新聞など発行し



ていただけたら楽しいと思います。

貴町のますますのご発展をお祈り申し上げます。敬具(母)

東京都東村山市の大樹さん

特別住民番号1559

昭和50年12月22日午後3時15分、我が家の大樹は生まれました。

「男の子だよ！可愛い顔をしてるよ!!」と言う母の声に私は「生まれたばかりの赤ちゃんは、みんな猿みたいな顔をしているのに、うちの子は違うんだ。可愛い顔をしているんだ。」と嬉しくなっていました。だから、初めて大樹と対面しての印象は、「なあんだ、やっぱり猿みたいじゃない。ぶっさいくな顔！」だったのです。



私は高校生の時から「将来、男の子が生まれたら“大”の字を使った名前をつけたい」と思っていました(ちょっとおませだったようです)。いつの頃だったでしょうか。テレビである生命保険会社の“大樹”という保険CMを見た時、結婚の予定も相手もないのに「大樹にしよう」と、もう決めてしまったのです(おませですよええ)。

大きな樹の木陰で休む人、くつろぐ人。私の大樹のまわりにもいつも人が集まって、みんななごやかに笑っている…。心や体を休めている…。そんな人間に育ててほしいと思ったのです(十代でこんなことを考えてるなんてやっぱりおませ！)。

それから何年か後に私の大樹は生まれ、そして23年たった現在、ちょっと名前負けのきらいがあるのですが、でもたくさんの友人に恵まれ、青春を満喫しています。

ちなみに、長女は“萌”です。この名前も高校生の時から決めていました。すずらんの主人公の萌ちゃんのように、美人じゃなくて残念です。どちらも北海道に縁のある名前になるとは思いもしませんでした。ふたりとも自分の名前を気に入ってくれているようです。不公平になると困るので、二男の名前も紹介させて下さい。“達人”です。武者小路実篤の詩“達人は”から取りました。夫の大好きな詩です。機会があったら読んでみて下さい。

いつか是非、大樹町に行ってみたいです。私のイメージ通りの町でしょうか。(母)

神奈川県藤沢市の大樹さん

特別住民番号1561

先日、知人より北海道にある大樹町で「全国の大樹さん募集」していることを知りまして応募しました。

我が家には、二人の息子がいます。長男は「景樹」、次男は「大樹」といいます。それぞれ名付けるのにとっても悩みました。



上の子供の時は、祖父の名の一字を頂き、いろいろと考えました。そこで、思いつきましたのが「この樹なんの樹…」でした。一本の樹がここにあることで、なんとも言えない風景になるように…と、「景樹」と名付けました。

二人目が3年9カ月後に生まれました時に、やはり悩みましたのが名前でした。男の子でしたから、すぐに思ったことは上の子に使いました「樹」は使おうということです。しかし、どういう名前にするかは夫婦で考え、いろいろな字を当てはめました。いちばんマッチしたのが「大樹」という名でした。大地にしっかりと根をはり、大空に向かってすくすくと成長してもらいたいと思いました。

子供二人の名前をならべてみまして、つくづくいい名を付けたと思っています。今回、この企画を知り、改めて子供達に名前由来を話しました。いずれ機会がありましたら、北海道大樹町へ息子二人の「樹」を探しにいきたいと思っています。(宮原 健三)

福岡県北九州市の大樹さん

特別住民番号1564

我が家の名字は、楠(くすのき)です。それなら、名前はもうこれしかありません。そうです、大樹(だいじゅ)、「楠大樹」です。



取ってつけた様な、本当に取ってつけたのです。「すくすくと、丈夫に育ててほしい。人の支えとなる様な…」そんな願いは、皆が後から言ったことなのです。

1979年9月9日、へその緒を首に二回り半もまきつけて、つな引きごっこの大格闘の末、泣き声を聞いた時のあの嬉しさ、健康で生まれたことの有難さ、他に何を望むものがあるでしょう。そう確かにそう思っていたはずなのに…。ついつい、いらぬ一言、おせっかい。ほっといたって、まがったり、広がったりしながらも、上へ上へと伸びていく木。子供だって同じこと。だって我が子は「楠 大樹」だもの。「名は体を表わす」よく言ったものです。しかし、ここに問題あり。普通で生まれたはずなのに、体が小さい。いつも一番前、名前のせいで・な思いもしたことでしょう。その度に「くすのきは大きくなるには時間がかかる。心配しなくたって、大丈夫」。そして、今日大樹は、20歳になりました。相変わらず小柄ですが、人は外見ではないということが一番わかっているのではないかしら。

「一度、聞いたら絶対忘れない名前」と、校長先生にそう言われ、見事小学校合格。これは名前でも得した話でしょうね。「大樹」「大樹」と呼びすてにされても、不思議と腹の立たない名前だと言っています。

私の住む「北九州市」は、松本零二氏の生まれ故郷、誕生日も999だし、スペースワールドだってあるし、おまけに目の前には、JRAの小倉競馬場、きっと大樹町で生まれ育った馬も活躍していることでしょう。本当に第二の故郷の様な気がします。大樹もくすのきの様にゆっくり時間をかけて、しっかり大地に根づく様に願ってやみません。
(父)
